

平成30年度 公共交通に関する要望等について

	要望団体	受付日	方法	要望内容		現状と今後の対応
1	北山工区 北丘町町内会	H30.6	文書	コミュニティバス 上半田川線の延伸	<ul style="list-style-type: none"> 地区の高齢化が進んでいる。 現在のバス停(団地外)までに急な坂道があり、高齢者には歩行が困難。 町内会による利用者規模調査が実施された。(平成28年4月) (要望内容) <ul style="list-style-type: none"> 団地内にバス停を増設してほしい。 団地内に自由降車区間を設けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 本要望は、下品野地域力向上協議会公共交通グループ及びコミュニティバス品野3線運行協議会に報告し、市民、交通事業者、行政の3者で協議し、課題の整理等を行った。 現行の路線は、1人の運転手が対応できる最大限の時間で運行内容が組まれているため、北丘団地の中まで運行する時間を全体路線の見直し等で確保する必要がある。また、現在の運行経路でバス停を近づける検討もしたが、安全上支障があると判断。 平成30年度の上半田川線の利用状況を注視しつつ、今後も検討していく。
2	上陣屋町町内会 下陣屋町町内会	H28.4.11 H28.11.4	文書 (11/4は 請願署名)	コミュニティバス 上之山線の延伸	<ul style="list-style-type: none"> 地区の高齢化が進んでいる。(特に独居または夫婦のみの世帯が多い。) 中心市街地に近い立地ではあるが、高低差が大きく、高齢者には歩行が困難。(基幹バス、コミュニティバスは運行していない。) 町内に店舗等はなく、買い物・通院は徒歩かタクシーを利用している。 (要望内容) <ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス上之山線(尾張瀬戸駅まで運行)を、上陣屋町方面を経由して新瀬戸駅までのルートに延伸してほしい。 現在、上之山線は毎日往復8便ずつ運行しているが、上記ルートは最低でも往復4便、最低でも週3日は運行してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 瀬戸市地域公共交通総合連携計画では、コミュニティバスの運行目的を公共交通不便地区の解消と位置付けており、上陣屋町、下陣屋町は鉄道勢圏内(鉄道駅から概ね800mの範囲)であり、公共交通不便地区には該当しない。 要望内容については、現行路線の1日の運行時間の長さや利用者数を考慮すると非常に難しい。 平成31年度に策定予定の瀬戸市地域公共交通網形成計画では、高齢化が進展する社会状況を踏まえ、鉄道駅、バス停ともに300m圏で人口カバー率を算出する新たな指標を掲げ、拠点周辺の公共交通空白地域の解消を目指すこととしている。この指標に基づくと、本地域は交通空白地域に該当する。今後、本計画に基づき、地域の実情を踏まえた効率的・効果的な生活交通の導入の検討を進める。